

2016年日本平和大会 in 三沢を大きく成功させましょう

— 自衛隊を戦場に送るな！憲法守れ！基地はいらない！の運動を —

2016年7月14日 第4回実行委員会

全国の平和を愛するみなさん。

7月10日に行われた参院選挙は、安倍政権の暴走に対し、戦争法廃止、立憲主義回復、憲法改悪反対を求める市民と野党が力を合わせて対決し、32の1人区のうち東北5県と沖縄はじめ11選挙区で統一候補が勝利しました。これは安倍政権を追いつめる重要な一歩です。

一方で安倍首相は、選挙期間中は改憲について争点そらしに終始し、このなかで戦後初めて衆参両院で改憲派が3分の2を占め、改憲を発議できる状況が生まれました。そして選挙直後から改憲に前のめりの姿勢をむき出しにしています。しかし、国民が憲法改定を支持したわけではありません。マスコミの出口調査でも、「安倍政権下での改憲反対」が50%を占めています。国民と野党の共同のたたかいをさらにいっそう発展させ、憲法改悪路線を打ち破ることは可能です。

こうした中で、10月22、23日に米軍三沢基地を抱える青森県三沢市で開かれる「なくそう！日米軍事同盟、米軍基地 2016年日本平和大会」を成功させることは、いよいよ重要になっています。

第1に大会は、「自衛隊を戦場に送るな！戦争法廃止、憲法9条守れ」の全国の運動を学び交流する大会です。安倍政権は内戦状態の続く南スーダンで活動する自衛隊部隊に、武器使用を伴う任務を加えようとしています。その最初の部隊とされる可能性が高いのが、11月に派遣される陸上自衛隊東北方面隊などの部隊です。「殺し殺される」戦場に自衛隊を送るな！海外での戦争を想定した演習や軍拡など、戦争法の具体化NO！憲法守れ！の運動を、全国から持ち寄りましょう。

第2に大会は、「沖縄県民と連帯し、米軍基地のない日本を」の全国の運動を、学び交流する大会です。元海兵隊員による20歳の女性に対する暴行殺人事件に抗議する「海兵隊の撤退を求める沖縄県民大会」（6月19日）には、6万5千人が参加しました。参院選挙では、米軍新基地建設反対、普天間基地撤去、日米地位協定の抜本改定を求める「オール沖縄」の統一候補・伊波洋一氏が圧勝しました。この沖縄県民のたたかいと固く連帯し、三沢基地はじめ全国の米軍地強化反対！基地はいらない！の運動を持ち寄りましょう。

第3に大会は、「軍事同盟ではなく、憲法いかした平和な日本とアジアを」の展望を学び、広げる大会です。北朝鮮の核開発、中国の領土をめぐる強硬な態度……どうしたらアジアの平和をつくることができるのか——今年の日本平和大会は、米軍基地を撤去させた経験を持つフィリピンの代表も招いて、このことを正面から考え、共に学び、討論します。

大会開催地にある米軍三沢基地は、F16戦闘機が今も中東での「対テロ戦争」の空爆に参加している、「日本防衛」とは無縁な海外への出撃基地です。それはB61核爆弾の搭載も可能です。また、自衛隊も最新鋭のF35A戦闘機配備が計画され、米軍・自衛隊が一体になって戦争する体制が強化されています。周辺住民は、爆音被害で故郷を追われ、集団移転を余儀なくされてきました。この基地の撤去を求める運動は、非核平和の日本をつくるうえで重要な全国的意義を持っています。この平和大会で、三沢基地の危険な実態もしっかり学びながら、憲法を破壊する安倍政権の暴走をストップさせ、米軍基地も軍事同盟もない憲法の輝く日本をつくる展望を開きましょう。学習パンフレットを大活用し、各地で平和のとりくみを強め、青年はじめ多数の代表を送り出しましょう。